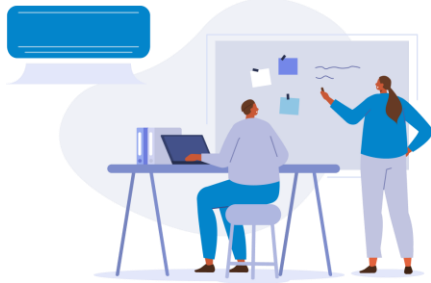


夏季の省エネ

全オフィスで消費電力の1%を削減すると、毎日、家庭約16万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

冷房の対策と省エネ効果

冷房



- ✓ 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。

※熱中症にご注意ください。

省エネ効果

約4%

- ✓ 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。

約4%



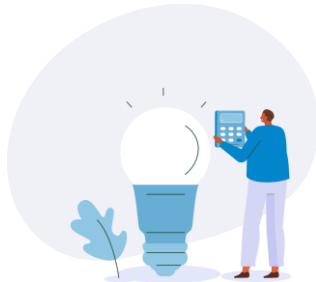
省エネ効果

約2%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止する。

照明の対策と省エネ効果

照明



- ✓ 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値）

省エネ効果

約13%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯する。

約3%

OA機器の対策と省エネ効果

機器



- ✓ 長時間離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。

省エネ効果

約4%

その他の対策と省エネ効果

自動車

- ✓ 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）。

便座

- ✓ 使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にする。

電気ポット

- ✓ 使わないときには、電源をオフにする。

※「省エネ効果」は点灯帯（17時頃）のオフィスの電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。

省エネポータルサイト

検索



経済産業省
資源エネルギー庁
Agency for Natural Resources and Energy